

2010年度 社団法人 長浜青年会議所 事業報告書

総括概要

本年度第55代上田貴磨理事長の力強い所信のもと

未来創生 前進あるのみ。魂を込めた行動が湖北の未来を創る。

基本方針 創立55周年の意義を認識し、新しい湖北の未来に向け、大きな戦略と目標をしっかりと定め、地域と一体となって日本一元気な湖北を創ろう。

- 運営方針
- 青年会議所会員として説得力の伴う活動をしよう
 - 未来に向かうローカリズム形成に努めよう
 - 地域と一体となる運動を推進しよう
 - 地域のリーダーとしての資質向上を図ろう

を掲げ、創立55周年を迎える長浜青年会議所の新たな運動展開として新構想「湖北コア・イノベーション構想」を提唱し、これからの湖北に必要な地域力の構築へ向けた活動を図り、日本一元気なまちを目指しメンバーの団結力と行動力により私達の活動を力強く発信できた一年となりました。

重点事業報告

創立55周年シンボルマーク



長浜青年会議所が創立され55年目となる本年に、55周年シンボルマークを設定。メンバーの思いと共有化を図り、一丸となってこれからの活動に向かうためにシンボルマークを作成しました。重ねあわされた手が、人から人へ、大人から子供へと繋がっていく地域力を表現し、「いざ!日本一元気なまちへ」という私たちのまちづくり運動への意気込みを表しました。また、シンボルマークを活用したステッカー、パネルを作成し、各事業において活用することでメンバーの周年への意気込みを内外に広くアピールすることができました。

社団法人長浜青年会議所創立55周年新構想

本年度、社団法人長浜青年会議所が創立55周年を迎えるにあたり、地域の現状や、これまでの活動を検証しました。そして成熟しはじめた湖北に新しい地域力を生み出し革新していく為に、“人・もの・情報の活発な交流により 地域力を高め独自の新たな価値を創り出す 日本一元気なまち湖北を目指そう”をテーマに新構想「湖北コア・イノベーション構想」を提唱。その具現化に向け、創造力・連携力・育成力の構築に向けた運動を展開して参りました。

創立55周年記念誌発刊

長浜青年会議所創立55年目に当たる本年に、これまでの54年の歴史を振り返り、これから私達が進むべき構想について記載した記念誌を発刊しました。分かりやすくこれまでの歴史を記載した見開きページなど、様々な工夫を凝らしながら、内容の充実を図り、文章においても何度も精査し作り上げました。見ていただくことで私たち青年会議所の活動を理解していただける一冊となりました。

創立55周年記念
湖北コア・イノベーション構想推進事業
湖北ジョイントフェスタ2010
～音の輪 人の和 湖北の〇～

今年度新たな構想の基、この湖北を日本一元気なまちにする為に「連携力」を確立するという視点で、誰もが共感でき、誰もが身近に接している音楽を切り口に、コミュニティーの垣根を超え湖北16万人の心をひとつにする運動を実施しました。

今回は、これからの湖北のまちづくりを担っていくであろう若い世代を中心に、自分達が輝ける場所を自分達の手で作りたいとの思いの基「ジョイントフェスタクラブ」をつくり、ジョイントフェスタミーティングと題しその中で熱い議論を交わし、また事業に向けての宣伝活動や、ポスター配布、タイムテーブルの作成、会場設営計画など、様々な活動と一緒に取り組んでいただくことができました。



また事業では青年会議所メンバーとジョイントフェスタクラブとが一緒になってジョイントフェスタクラブ実行委員会として「湖北ジョイントフェスタ2010 ～音の輪 人の輪 湖北の〇～」と題した事業を8月7日、長浜豊公園にて行いました。事業においては、中高生吹奏部、高校や大学で活動されている軽音楽、ダンス、和太鼓など数多くの団体の皆さんに日頃の活動を披露していただくことができ、その他に湖北地域の特産物販売や、PRブースを設けることで、当日湖北内外から来ていただいたお客様にも湖北の魅力を発信することができました。

音楽と共に地域や年齢の垣根を超え、演奏者や参画者、皆さんが一様に力を出し合っている空間をつくることができ、全員が楽しんでいただけた活動となりました。



創立55周年記念
湖北コア・イノベーション構想推進事業
地域経済発展フォーラム2010
～国際化が湖北を変える～

今年度新たな構想の基、この湖北を日本一元気なまちにする為に「創造力」を確立するという視点で、国際交流を切り口に、湖北経済の発展に繋がる戦略的運動を実施しました。



今回は活動当初より、経済的発展の伴う湖北の成長に向けて、湖北の現状を徹底的に調査・研究するという意味で、行政や市民団体との座談会を数多く行って参りました。その中で出てきた各地域の現状や問題点などを踏まえ、地域の資産、資源を更に活かし、新たな視点で湖北を再発見する必要があるとの考えに至りました。その考えを具現化する為に、「湖北の国際化」を打ち出し、湖北住民の皆さんが様々な国の人々と交流し、様々な国の文化を理解し吸収することで、今あるものが形をかえて発展していけることを知っていただき、強く意識していただくことが必要と考えました。

その主張を広く市民の皆さんに発信する為に、9月5日に長浜バイオ大学にて「地域経済発展フォーラム2010 ～国際化が湖北を変える～」と題してフォーラムを行いました。フォーラムは三部構成で行い、第一部では講師としてジェフ・バーグラント氏をお招きし「異文化コミュニケーションによる地域の発展」をテーマに講演をしていただきました。第二部ではパネルディスカッションとして「ここが変だよ湖北人」のテーマのもと、多くの外国人、日本人の方々にパネラーとして参加していただき、違う視点で見た時の湖北の素晴らしさを知る絶好の機会となりました。第三部では「国際交流会～World Party」と題して、さいかち浜に場所を移し、外国人の方々といろいろな国々の料理などを食べながら普段では感じる事の出来ない異文化に触れることが出来ました。

今回のフォーラムを通して、経済発展に向け湖北に国際化という新たな視点が浸透するきっかけとなる素晴らしい事業となりました。

創立55周年記念 湖北コア・イノベーション構想推進事業 「Let's learn the kohoku 2010」

【第1部】 元気MORIMORIアドベンチャ～！ 【第2部】 座談会！

今年度新たな構想の基、この湖北を日本一元気なまちにする為に「育能力」を確立するという視点で、社会情勢に流されない確固たる地域基盤を確立するひとつづくり運動の実施を行いました。

湖北地域が一体となって湖北らしさというものを自らが学び、しっかりと次世代の子ども達に継承する。その子ども達が自立した成人へと導く事の出来る地域基盤の確立を目指すことを考え、「地域の子供達は地域で育む」という共通理念のコンセプトから更に踏み込み、子ども達の真の自立心を育むことの大切さを地域に投げかけ、育能力を高める為、様々な体験・交流の中から私達大人が子ども達と共に湖北を学び、見つめ直すことが重要と考え事業を開催しました。

事業は二部構成で行い、第一部は『Let's learn the Kohoku 2010』元気MORIMORIアドベンチャ～！と題し、7月17日、18日に米原市東草野地区と伊吹山にて一泊二日の体験型事業を行いました。湖北各地の小学校に出向き参加案内を行った結果、当日は多くの子どもや大人の方々に参加していただくことができ、また地域で活動されている団体の方々にも多く参画していただくことで、参加者の皆さんにも湖北の伝統や文化なども知っていただき、学んでいただくことができました。また二日目の伊吹山登山では誰からも手を差し伸べてもらうことなく、自分自身の力で登りきったことで普段の生活では味わえない充実感や達成感を感じていただくことができました。

第二部では『Let's learn the Kohoku 2010』座談会と題し、8月28日に農村環境改善センターにて座談会を行いました。座談会では第一部に参加していただいた、子供たちや大人、団体、行政の方々にも参加をしていただき、第一部で体験した感想などをまじえ、多くの意見交換を行うことができ、今後も活動を行っていく上で、地域住民の方々ともしっかりと交流をはかることができました。



会員旅行 「ほんまもんのお阪へゴーゴー！ ～絆づくりの旅～」

3月13日（土）、14日（日）の2日間に亘り、大阪の地にて2010年度の会員旅行が行われました。1日目の『なにわ探検クルーズ』では、大阪の水路を船で旅し、普段見ることのない川から眺める大阪の街を見て、新たな魅力を発見できる機会となりました。

夜の懇親会では、旅行と言う事もあり時間を忘れメンバーと多くの時間を共有することができました。

2日目の朝は阪急メンズ館統括部長岡崎氏には、消費者の心をいかに掴むのかなど、貴重なお話を聞く事ができ、アサヒビール吹田工場では環境問題の取り組みなどリーディングカンパニーとしての意気込みを肌で感じる事ができ、これからの私たちの活動やそしてなにより仕事において多くを学ぶことができました。2日間を通して和やかな雰囲気の中、メンバーの絆を深め旅行を終えることが出来ました。



2010年度滋賀ブロック協議会 公式訪問役員懇談会・懇親会

6月8日（火）井上伸一会長率いる滋賀ブロック協議会役員団の皆様が、県内11LOMの例会を順次訪問される公式訪問例会が行われました。上田理事長の今までにも増した熱い挨拶が始まると、ブロック役員団を始め会場内が厳粛な空間へと一変致しました。続きまして井上滋賀ブロック会長による挨拶では日本青年会議所会頭の名代として、日頃の感謝と今後の滋賀ブロックへの連携について話されました。懇談会では、長浜青年会議所からブロック役員団の方々へ、つづいてブロック役員団から長浜青年会議所への質問と、お互いの活動の理解を深めるため厳粛な雰囲気の中での懇談会となりました。役員団の方々への質問の際には各委員長の滋賀ブロックに対する積極的な思いから多くの質問が飛び出し、長浜青年会議所の熱意を伝えることができました。また、懇談会だけでなく例会の中においても長浜青年会議所の本年度の例会の

スタイルや、誕生日の時間、3分間スピーチ、交通安全宣言の唱和など長浜らしい例会の雰囲気を感じていただきました。そして場所を移動しての大懇親会。会員交流委員会メンバー扮する浅井長政及びその家臣の登場から始まり、2011年度の大河ドラマの主演でもある「お江」の誕生の一場面が演じられました。完成度が高い演技と迫力ある喜びの舞いでは会場内に歓声が響き渡りました。役員団の方々から賞賛の声をいただきました。懇談会での厳粛な雰囲気から一変して懇親会は終始和やかに進行し、恒例の若い我ら斉唱の時には会場にいた全てのメンバーが満面の笑みで輪を作り、ブロック役員団の方々との有意義な時間を過ごす事ができました。

家族例会・家族会「今日は思いで共感祭り!!!」

10月30日(土)グランパレー京岩にて開催された家族例会では、講師に日本アロマ環境協会アロマセラピーインストラクターである清水千香子氏をお招きし、リラクゼーションやリフレッシュ法、自然との共生を大切にしながら、自然の香りある心豊かで心地よい環境づくりなどのご講演後、オリジナルアロマ石鹸づくりをレクチャーいただきました。参加いただいた奥様や子ども達も賑やかにそれぞれの思いのつまった石鹸を作成しました。普段行われている講師例会とは少し趣向は違いますが、綱領唱和や交通安全宣言の唱和など普段の私たちの例会の状況をご家族にもご理解いただける一日となりました。

引き続いて部屋を隣に移した家族会ではハロウィンパーティーに会場をみたくて、さまざまなコスチュームに身をつつんだ会員交流委員会メンバーが食事の提供やアトラクションを披露し、長浜青年会議所活動に日頃ご支援いただいている家族の方々に対し、精一杯のおもてなしを行いました。普段の活動を知っていただくことで、更なるご家族の理解を深めていただき私たちの感謝の気持ちを表すきっかけにもなりました。



繁盛伝説!!ホスピタリティのススメ ～ほめるにこだわる経営術～

6月19日(土)講師に多数のメディアに取り上げられ話題性の高い西村貴好氏をお招きし、2部構成での事業が行われました。日本一元気な地域社会を創り上げていくためには、そこに息づく経済基盤となる各企業体が生き活きと活動し、元気になっていくことが必要です。それにより新しい事業展開や企業の組織的発展を実践させることが重要となります。会社を元気にするために、まず社員が元気でなければならないと考えました。そのためには社員をやる気にさせるにはどうすればいいのか。怒るのではなく、褒めるということに注目した事業となりました。まず第一部では長浜青年会議所の研修事業としては近年にない対外の方も含めた事業を行いました。『繁盛店のほめる仕組み』と題し、ほめ方一つ・話し方・考え方一つで大きく会社や人は変わるんだということを、時には笑いも交えながらご講和頂き、参加された多くの地元企業様も大変満足されておられました。第二部では、ほめ検定・ほめ新聞作りをおこない、会社の部下の紹介、委員会メンバーへの感謝の思いを発表致しました。



2010年度 褒賞申請

湖北力再生マスタープランの3本柱の一つである政策提言『新湖北創造フォーラム～長浜が変わる・私たちが変える』を申請しました。魅力的な文化風習と多岐の課題を併せ持つ湖北が広域合併を控えた中で、長浜青年会議所が地域創造プランを軸に取り組んだ様々な活動とその成果を発信しました。伝えたい内容を十分に整理し、読む側と聞く側の立場に立って限られた中で適確に伝えられるように努めました。また具体的な事業を申請した方が事業の性質や内容を理解して頂き易いと考え工夫しました。賞を取ることが目的ではありませんが、取ることを意識することで、何が必要であり、何を求められているのか、そして何を内外に結果として残すのかを的確に把握する良き機会となりました。また、申請するプログラムに携わった委員会、これから携わる委員会を中心としたメンバーを選定することにより、事業の振り返りや今後より良い事業を作る一助となると感じました。多くの対外LOMに向けて長浜青年会議所の運動を広く発信することができました。

2010年度FTセミナー GO!! (江) ～JC達の戦国～

11月13日(土)、青年会議所活動を行う上で自身の地域を知り、いつもと違う視点で見つめなおすことが今後の活動の礎になるとして当セミナーを開催しました。虎御前山、小谷城の歴史と史跡について、地元、湖北町のボランティアガイドの方にお話を頂き、近くに住んでいるにもかかわらずなかなか知りえなかった様々なことを学ぶきっかけとなりました。その後、約3時間にもわたる登山では、大変な行程ではありましたが、登山の達成感から全員が笑顔で写真撮影をすることができました。浅井文化スポーツ公園内の農村環境改善センター集会室で行われた青春の居酒屋では、ともに歩き時間を共有したことでさらに結束を固めることができました。疲労困憊になりながらも、メンバーがともに達成感を感じ、また、事前準備や新入会員自身の思いを伝える場を設けたことで、メンバー同士の距離をさらに近づけることができ、膝を突き合わせた中で多くの言葉を交わすことができました。この事業により新入会員指導委員会のメンバー自身も先輩方との親睦を図る事ができ、今後の活動に向けた大きな礎となりました。



創立55周年記念式典 「いざ!日本一元気なまちへ」 For the Next Stage

今年度55周年という節目の年を迎え、長浜青年会議所の歴史や伝統、過去の輝かしい奇跡をたどり、またこれからの長浜青年会議所が向うべき姿、意気込みを理解していただく為に、9月26日に長浜文化芸術会館、長浜ロイヤルホテルにて記念式典、祝賀会を行いました。

式典オープニングでは「新時代」をコンセプトにメンバーが指揮者となり、音楽や映像を使っでの演出を行い、今後長浜青年会議所が指揮をとり、どこにも負けない日本一元気なまち湖北の未来を創生していくという意気込みを感じていただくことが出来ました。

エンディングでは、地域の子どもや大人の方々に参画していただき、We Believeの合唱を行いました。私達が地域の人々と共に日本一元気なまちを目指す姿を感じていただくことができ、長浜青年会議所が目指している活動を広く一般の方々に理解していただける機会となりました。

今回の式典を通じ「54年の歩み」や新構想「湖北コア・イノベーション構想」を映像や記念誌、記念品によって広く発信することができ、式典に出席いただいた来賓や来訪JC、特別会員の方々に長浜青年会議所の伝統や、これからの目指すべき方向性、意気込みを理解していただくことができました。



創立55周年記念祝賀会

祝賀会は長浜ロイヤルホテルの会場内に湖北の歴史資産でもある丸小船を再現して開催されました。

オープニングでは新丸小船を舞台に私たちの手で作りあげた創作の舞を力強く演じることで、丸小船という古き良き伝統を残しながらも、今までにはない斬新な発想をもって次の時代の夢や目標を自らつかみ取るように進もうとする意気込みをお伝えすることができました。

アトラクションでは大人数でリズム感ある音を奏でることによって、メンバー個々の力を表現することができ、会場を揺るがすような一つの大きな音になることによって私たち長浜青年会議所のもつ力を表現することができました。これによってこの地域を今までもこれからも牽引していくのは私たち自身であり、一人一人が協力し合ってきた最大の力でこの地域を牽引していくという意気込みをお伝えすることができました。

今回の祝賀会を通じて来賓や来訪JC、特別会員の方々に、これからの新しいステージへ私達長浜青年会議所が先頭に立ってその船を力強く前に進めていくという意気込みをお伝えすることができました。